

# 馬主だより

第71号

平成27年4月17日

発行 (一社)ばんえい競馬  
馬主協会事務局

## ☆単独開催最高132億円の発売額達成 黒字額約2億円に！！

▼先月、3月30日をもって2014年度のばんえい競馬開催153日間の全日程が終了。馬券の発売額は132億1834万円で帯広市単独開催となり最高額を記録いたしました。また、帯広競馬場の入場者数も27万8263人となり2年連続で最多記録の更新となりました。▼1日の発売額が1億円を超えた日が今年度27日(昨年4日)、インターネット販売が好調で発売額全体の6割以上を占め、その中でも南関東のインターネット投票システム「SPAT4」は今年度の発売日51日と、昨年度14日から大幅に増えた事も発売額全体を押し上げた要因。また、中央競馬の馬券発売の相乗効果も少しずつ表れファン層の拡大にもつながっています。▼その結果、黒字額も昨年の9,900万円を大幅に上回る約2億円に達する見通しで、ばんえい競馬を取り巻く環境は8年目にしようやく好循環になりつつあります。まだまだ来年も再来年もこの好調を維持しその先へと経営の安定化に期待したいところです。▼経営には様々なリスク・不安が付き物です。良い時もあれば悪くなる時も必ずあります。「いざという時のため」「不測の事態に」備えて、好調なときにこそ「次の手を打っておきたい」、「治にいて乱を忘れず」この戒めをしっかりと心に刻み、先手、先手の準備を怠りなく重ねて行くことが、「存続・発展」には不可欠です。平成27年度の開幕はもう目前、“準備万端！いざ出陣”へ！！

平成26年度 ばんえい競馬 発売成績(総額)

開催153日間

CB事業推進課投票グループ資料提供

平成27年3月30日終了時

区分	発 売 金 額							
	平成26年度			平成25年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	153	1,545,688,100	1,581,446,500	153	1,599,595,400	97.74	96.63	
直営場外	旭川北彩都	153	938,158,900	964,185,000	153	989,369,300	97.30	94.82
	ミトスポット北見	153	370,369,100	382,889,800	153	466,691,800	96.73	79.36
	ハロンス岩見沢	153	281,030,500	290,182,400	153	307,980,300	96.85	91.25
	ハロンス釧路	153	114,998,000	117,990,900	153	126,735,000	97.46	90.74
	ハロンス名寄	153	137,466,200	136,907,300	153	155,890,300	100.41	88.18
	アプスポット網走	153	123,108,400	129,522,000	153	152,715,600	95.05	80.61
	琴似駅前	153	129,723,800	133,304,400	153	113,177,500	97.31	114.62
	イルムふかがわ	153	123,645,400	128,460,000	94	99,887,000	96.25	123.79
電投	オッズパーク	153	4,296,372,000	4,347,515,200	153	3,738,940,400	98.82	114.91
	OP(七重勝)	153	47,594,000	79,810,300	153	50,072,000	104.46	95.05
	OP(五重勝)	153	35,775,700		153	41,327,600		86.57
	競馬モール	153	2,894,878,800	2,975,010,000	153	2,119,213,500	97.31	136.60
	SPAT4	51	739,193,500	754,365,600	14	79,318,800	97.99	931.93
広域場間場外	—	1,440,340,200	1,478,410,600	—	1,621,728,300	97.42	88.82	
場外・電投計	—	11,672,654,500	11,918,553,500	—	10,063,047,400	97.94	116.00	
合 計	153	13,218,342,600	13,500,000,000	153	11,662,642,800	97.91	113.34	
1日平均		86,394,396	88,235,294		76,226,424	97.91	113.34	

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第26回5日目まで153日間)

平成25年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第26回4日目まで153日間)

## 会議等の様子

### ○ 平成 26 年度第 8 回執行役員会開催

#### ～新年度の予算積算内訳等精査～

平成 27 年 3 月 15 日(日)当協会会議室において、平成 26 年度第 8 回執行役員会を開催いたしました。

役員会では、競走馬弔慰金の査定、平成 26 年度第 5 回理事会議案の事前審議、また、平成 27 年度の特定期資産の運用方法について審議いたしました。

平成 27 年度の事業計画案の概要及び予算編成の積算内訳等について事務局から説明、予算の細部に亘り内容を精査いたしました。

#### 【第 8 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 平成 26 年度第 5 回理事会の議案について
- (3) 特定期資産の運用方法について
- (4) その他

【馬弔慰金支給対象馬】 1頭 600,000円

内 訳

(単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
サカノセンブー	5	大阪 武	業務中	600,000

### ○ 平成 26 年度第 5 回理事会開催

#### ～新年度事業計画及び収支予算案 全会一致で承認される～

平成 27 年 3 月 15 日(日)当協会会議室において、平成 26 年度第 5 回理事会を開催いたしました。

報告事項では、開業獣医師の公募について、公募までの経過や応募状況などについて報告。診療所の在り方については、これまでも帯広市と種々審議を重ねてまいりましたが、最終的には、今まで同様、開業獣医師による診療所の運営が望ましいとの結論に至りました。

早速、開業獣医師募集要領を定め、帯広市並びに当協会の連名で開業獣医師を公募することとなり、本年 2 月下旬から、帯広市 HP をはじめ、ばんえい十勝 HP、当協会 HP、日本獣医師会 HP 等で公募することに加え、北海道獣医師会雑誌(会報)に掲載、また、帯広市から地方競馬全国協会や公営競馬獣医師協会にも獣医師の紹介を要請するなど関係機関にも積極的に働きかけました。

一方で地元十勝の獣医師にも様々なルートを通じ個別に相談するなど活動を続けておりましたが、予想どおり獣医師の確保は容易ではなく、一人を確保することでさえままならぬ極めて困難な状況にある現実を直視させられました。

そのような中で、帯広市に問い合わせが一件あり、開業獣医師としてではなく勤務獣医師希望との事で、こちらは現時点で獣医師雇用の受け皿となる組織、団体がなく新たにそれが実現可能か早急に検討するとして、回答している現況を報告し

ました。

また、議案では、平成 27 年度の事業計画並びに収支予算案について審議。新年度は新たな事業として、今後の獣医診療における課題の解決に向けて、帯広市と連携し競走馬の安定的な診療体制を補完するため当協会として診療体制をサポートする「診療業務補完事業」の実施計画の概要について説明しました。

当該事業は、帯広市から補助金2千万円の助成を受け実施する計画で、獣医師が診療所開業時の負担を軽減するとともに診療に専念できる環境を整えるための予算措置をいたしました。

この他、各種事業については、従前からの事業を踏襲して実施することで平成 27 年度の事業計画並びに収支予算については、全て原案のとおり全会一致で可決承認されました。

#### 【第 5 回理事会議事】

- |      |          |                                     |
|------|----------|-------------------------------------|
| 日程 1 | 報告第 1 号  | 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について             |
|      | 報告第 2 号  | 競走馬弔慰金の給付額の決定について                   |
|      | 報告第 3 号  | 正会員の入会申込みについて                       |
| 日程 2 | 報告第 4 号  | 開業獣医師の公募について                        |
| 日程 3 | 議案第 1 号  | 平成 27 年度事業計画（案）の承認について              |
|      | 議案第 2 号  | 平成 27 年度収支予算書（案）及び附属明細書の承認について      |
| 日程 4 | 協議案第 1 号 | 平成 27 年度ばんえい競馬実施方針説明会の実施について        |
| 日程 5 | 其 の 他    | ① 次回理事会通常総会等の日程について<br>② 臨時家畜市場について |

#### 【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
26-9	白戸耕二	北14-25	道南ブロック
26-10	高瀬裕也	法15-01	道央ブロック

## ○ 昨年 4 月から本年 2 月期における監事監査実施

### ～理事の職務執行及び会計処理の状況等について監査～

平成 27 年 3 月 21 日(祝土)当協会会議室において、平成 26 年 4 月から平成 27 年 2 月期までの理事の職務の執行状況、協会の業務並びに財産及び会計処理の状況について監査を行いました。

監査は、赤堀代表理事会長立会のもと、宝田、堂場両監事により実施されました。

流通促進事業に関して、市場上場頭数を確保するため、関係者が一丸となって市場開設時前後の競馬場内における相対取引を禁止するよう帯広市から各調教師に指導徹底を図る旨の意見がありました。

競馬場内における防疫や馬房の使用方法については、以前より馬主から問題があるという意見もあり、主催者に申し入れし改善するよう指摘がありました。

#### 【監査資料】

- 資料 1 平成 26 年度事業実施報告
- 資料 2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況
- 資料 3 平成 26 年 4 月～平成 27 年 2 月期決算報告書（財務諸表等）

- ・貸借対照表・正味財産増減計算書・予算対比正味財産増減計算書・収支計算書・予算推移付収支予算管理月報・財産目録・正味財産増減計算書内訳表・収支計算書内訳表・特定資産の増減及びその残高・固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高、平成 26 年度流通促進事業（臨時家畜市場）収支、純益総括表

#### 資料 4 参考資料

- ・平成 26 年度機構図・平成 26 年度新規会員(12 人)・平成 26 年度会員資格喪失者(21 人)・平成 26 年度会員資格喪失対象者(4 人)

## ○ 平成 26 年度第 9 回執行役員会開催

### ～開業獣医師確保 獣医診療支援体制等協議～

平成 27 年 3 月 29 日(日)帯広競馬場会議室において、平成 26 年度第 9 回執行役員会を開催いたしました。

開業獣医師の確保については、以前から公募しているものの、なかなか獣医師が見つからず、年度末を目前に控え逼迫した状況が続いておりました。

去る 3 月 24 日当協会会員の紹介により、帯広市ばんえい振興室の佐藤室長と当協会赤堀代表理事長が獣医師と面談し、開業に際しての診療支援体制について説明。是非、帯広競馬場において開業をしていただくよう正式に要請したところ、開業の意思を明確に確認するとともに本人の承諾を得たところでした。

しかしながら、当該獣医師の都合で開業までは一定の時間がかかることから、4 月 1 日から開業するまでの間、暫定的に診療していただける獣医師を急ぎよ探すことになりました。

この件とは別に、帯広市が「承認外来獣医師」として、あらかじめ帯広市に申請して承認を受けた獣医師が、競馬場内で臨時的に診療を認める制度を新たに設け、調教師を通じ馬主はじめ関係者に周知徹底を図っています。

また、帯広市と帯広畜産大学との連携により、獣医診療に係る応援体制や急患対応等について、今後、具体的にどのような体制が構築できるのか、協議を進めて行く事について報告いたしました。

#### 【第 9 回執行役員会議事】

- (1) 開業獣医師の確保について
- (2) 委任状の委任事項変更について
- (3) その他
  - ① 診療補完事業に係る帯広畜産大学の支援体制について
  - ② 嘱託職員（獣医師補助、サポート業務）の採用について

## ○ ばんえい十勝調教師会と確認事項打合せ

### ～獣医師確保の課題と市場運営に協力を要請～

平成 27 年 3 月 29 日(日)平成 26 年度第 9 回執行役員会終了後、帯広競馬場会議室において、引き続きばんえい十勝調教師会役員と当協会役員で打合せを行いました。

既にご案内のとおり平成 27 年 3 月末日をもって診療所が閉鎖となることから、新たな開業獣医師を公募したところ獣医師 1 名を確保することとなりましたが、本人の意向もあり 4 月からすぐには開業出来ないため、開業するまでの間は急場を凌ぐため、帯広市とも協力して獣医師確保に向けて全力を傾注し、他の獣医師を探しています

が、当時、まだ見つかっていない事を報告。

見つかるまでの間は、承認外来獣医師を含め、調教師や預託している馬主の知り合い等がいれば、各自で対応するよう求めたところ です。

前任の獣医師が診療所閉鎖に至った経緯を踏まえ、今後、各調教師はじめ、所属騎手、きゅう務員等きゅう舎関係者は、各きゅう舎の責任において、獣医師への対応については、診療方針を尊重するとともに不快な言動、行為、品位を汚すような態度等は謹んでいただきますよう指導徹底を要請しました。

また、臨時市場の開設につきましては、これまできゅう舎内における相対取引が恒常的に行われていることから、平成 26 年度は、直前になり市場上場頭数が見込めなくなり、中止せざるを得ない状況に至っております。このことから、市場開設日前後の競馬場内における相対取引は一切行わないよう、各調教師にも周知徹底するよう求めたところ です。

なお、ばんえい十勝調教師会との確認事項は次のとおりです。

#### 【確認事項】

1. 預託契約等に係る事項について
  - (1) 預託契約について
  - (2) 委任状について
  - (3) 進上金について
2. 能力検査受検入きゅう馬名簿の提出について
3. 新たに競走馬を所有し預託契約を締結した新規入会者の意思確認について
4. 臨時家畜市場開設について

## 情報・ご案内

### ○ 田上 忠夫調教師“1000勝達成” ばんえい史上通算13人目！！

ばんえい十勝では、3月8日(日)の第3競走でサカノボルト号(雄5歳、工藤 篤騎手騎乗)が優勝し、田上 忠夫調教師は通算 1000 勝を達成しました。

ばんえい史上通算 13 人目、現役では 9 人目の記録となります。

おめでとうございます。

田上忠夫(たがみ ただお)調教師プロフィール	
生年月日	1958年10月7日(56歳)
出身地	北海道上川郡下川町
調教師デビュー	1988年4月18日(管理馬:フジノマード)
調教師初勝利	1988年6月28日(管理馬:エイシユン)
調教師通算成績	11,148戦 1,000勝(うち重賞3勝) ※2015年3月8日第3レース終了時点
主な重賞(調教師)	1992年 農林水産大臣賞典(管理馬:テンシヨウリ) 1996年 ヒロインズカップ(管理馬:イシノコトブキ) 1998年 クインカップ(管理馬:イシノキクハナ)

## ○ 第 47 回ばんえい記念 キタノタイショウ制す！！

### ～三度目の挑戦で悲願達成 頂点を奪取～

平成 27 年 3 月 22 日(日)帯広競馬場では、一年の総決算となるばんえい最高峰レースの農林水産大臣賞典「第 47 回ばんえい記念」が実施されました。

当日は、全国から約 4,200 人もの大勢のファンが伝統の一戦を間近で見るため帯広競馬場に来場され、白熱したレースを観戦しました。

2 番人気のキタノタイショウ号(雄 9 歳、服部きゆう舎、大河原 和雄騎手)がゴール直前に次々と他の馬を追い抜き、見事三度目の挑戦で悲願の初優勝を飾りました。

1 日の総売り上げは 119,638,600 円(昨年 124,717,800 円)、ばんえい記念競走 1 レースの売上は 41,500,800 円(昨年 39,769,100 円)、入場者数は 4,176 人(昨年 4,264 人)でした。

<キタノタイショウ号のプロフィール> ※2015 年 3 月 22 日現在  
生年月日・毛色 : 2006 年 5 月 2 日 (牡 9 歳・栗毛)  
血統 : 父 ダイヤキンショウ 母 優 奈 (母父) タカラフジ  
生産者 : 衣原 国雄 氏  
馬 主 : 木下 英三 氏  
厩 舎 : 服部 義幸 厩舎  
通算成績 : 169 戦 40 勝 (うち重賞 11 勝)

## ○ 帯広市施設整備に“ばんえい基金”設立 2 億 2 千万円積立て！！

### ～収益の一部を積み立て スタンド改修財源に充てる～

帯広市は老朽化した帯広競馬場の施設整備などに充てる「ばんえい競馬施設等整備基金」を設立し、2014 年度ばんえい競馬会計補正予算に積立金 2 億 2 千万円を計上しました。本年度の決算は、2 年連続で大幅黒字となることが確実で収益の一部を基金に積み立て、競馬場のスタンド改修など将来的に必要となる大型工事の財源に充てます。

13 年度のばんえい競馬特別会計の決算は、帯広単独開催となった 07 年年度以降最高額の約 9,900 万円の黒字だったが、本年度はこれを上回る黒字幅となることが濃厚です。

## ○ 平成 27 年度のばんえい競馬運営体制強化！！

### ～広報・馬場管理業務 委託先を地元企業へ変更～

帯広市は、平成 27 年度から広報や馬場管理などの主要業務の運営委託先を地元企業に変更します。地元でばんえいを支える体制を強化するのが狙いです。これまで受託先のコンピューター・ビジネス(CB、旭川)は、引き続き直営場外発売所 8 カ所の管理運営を担うこととなります。

広報業務やバックヤードツアーを含むファンサービスなどはティワイネット(帯広)、馬場管理業務は北海道有線放送(同)に委託します。

帯広市は受託企業が、赤字分を負担する包括的事務委託は 14 年度に見直し、直営業務を増やし市の経営責任を明確にしました。

## ○ 競馬場スタンド 耐震診断決定！

### ～帯広市 競馬場スタンドの大規模改修検討～

帯広競馬場を所有する十勝農業協同組合連合会は、帯広競馬場のスタンド耐震診断を行う事を決定しました。

競馬場のスタンドは 1974 年に完成。地上 3 階建てで、延べ床面積は 8941 平方メートル。当該競馬場は、現在、帯広市が十勝農協連から賃借しています。建設から 40 年以上が経過し、老朽化がかなり進んでいる模様。

耐震診断の開始時期や具体的費用は未定ですが、耐震改修促進法改正により、病院や店舗など不特定多数が利用する大規模建築物は 12 月末までに耐震診断の実施と結果報告が義務付けられており、同競馬場も該当しています。

帯広市は耐震診断の結果を待って、同競馬場の大規模改修を検討しています。

## ○ 第 1 回ばんえい能力検査実施！！

### ～190 頭がエントリー うち 176 頭合格 昨年の倍以上となる～

平成 27 年度の第 1 回能力検査は、平成 27 年 4 月 11 日(土)帯広競馬場において第 1 レース(午前 8 時発走)から最終第 21 レース(午後 3 時 20 分発走)まで小雨がちらつく中、行われました。

能力検査は、190 頭(2 歳馬 189 頭、3 歳馬 1 頭)の申込があり、このうち 2 歳馬 175 頭(不合格 9 頭、取消 5 頭)、及び 3 歳馬 1 頭が合格。

昨年は、144 頭の申込で 87 頭の合格でしたので申込頭数、合格頭数とも大幅に増加しました。

なお、合格馬については、18 日開幕の平成 27 年度ばんえい競馬開催以降、順次デビュー(5 月上旬以降)いたします。

## ○ 今年度第 1 回臨時家畜市場開設！！

### ～16 頭上場うち 12 頭成立 取引平均額 114 万円の高値で売買～

平成 27 年 4 月 12 日(日)帯広競馬場内において平成 27 年度第 1 回臨時家畜市場を開設いたしました。取引結果については下記のとおり。

平成 27 年度臨時家畜市場開設成績

回数	開催月日	開催場所	出場頭数 (頭)	成立頭数 (頭)	成立率 (%)	取引総額 (円)
第1回	4月12日	帯広競馬場	16	12	75.0	13,672,800

回数	オス最低価格 (円)	オス最高価格 (円)	メス最低価格 (円)	メス最高価格 (円)	平均価格 (円)
第1回	864,000	1,414,800	1,080,000	1,155,600	1,139,400

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
3月8日	第46回 イレネー記念	センゴクエース	千石 貞子	槻館 重人
3月15日	第36回 ポプラ賞	ナナノチカラ	赤鷹 秀人	小北 栄一
3月22日	第47回 ばんえい記念	キタノタイショウ	木下 英三	服部 義幸

### 優勝おめでとうございます！

#### ◆ 第46回イレネー記念（3歳オープン）

圧倒的1番人気に推された**センゴクエース**が優勝。デビュー以来9戦9勝とし、世代チャンピオンの座に就きました。

1にも2にもセンゴクエース。単勝1.2倍のオッズからも、問題は相手探しといった様相を呈しました。ホクショウキズナが8.6倍で離れた2番人気。さらに離れてキンメダル、ホクセイボスと続きます。馬場水分3.1%のなか、注目のスタートが切られました。

第1障害を通過して、先頭は早くもセンゴクエース。サカノメイホウ、コウシュハスパーク、メモロコマチあたりが離れた後方を進みましたが、そのほかはほぼ横一線で第2障害を迎えました。

真っ先に仕掛けたのはキンメダルとホクショウキズナ。特にキンメダルが抜群の登坂を見せ、先頭で障害を登り切ります。しかし、それを上回る登坂を見せたのがセンゴクエース。じっくりためたのち一気に駆け上がり、キンメダルと並んで障害を突破しました。他馬は690キロの重量も響いたか苦戦を強いられ、相当離れてコウシュハスパーク、そしてタキニシサンデーと続きました。先頭は完全なマッチレースとなりましたが、残り20メートルを切ったあたりでキンメダルが失速。そして10メートル標識手前で完全に脚を止めてしまい、勝負あり。最後まで脚どり乱れず歩き続けたセンゴクエースが実力の違いを見せつけました。キンメダルはゴール線上でもストップしましたが、3番手以下にはセーフティリードをつけていたため2着入線。逆に熾烈を極めた3着争いは、コウシュハスパークが先着しました。父ウンカイ、母サダエリコの良血センゴクエースが無敗で現3歳世代の頂点に輝きました。抜群の登坂力、そしてしまいまできっちり歩き続けるレースぶり。初めて課せられた690キロも問題なくこなし、限りない未来を感じさせました。連勝をどこまで伸ばせるのかにも注目が集まりますが、それ以上にこの馬に課せられた使命は、ばんえいの未来。その成長が楽しみでなりません。

キンメダルは2着。センゴクエースという宿敵こそいるものの、この馬もヤングチャンピオンシップ3着に続く好走で、世代上位の力を示しました。しまいが甘くなったのは気がかりですが、今後の成長次第でタイトル奪取の期待は十分です。

9番人気のコウシュハスパークが3着。だいぶ離されての結果だけに過大評価はできませんが、ある程度早めに障害を越えながら激しい3着争いを制した内容は悪くありません。今後も世代重賞で上位をにぎわしてくれることでしょう。

#### ◆ 第36回ポプラ賞（4歳・5歳オープン）

単勝3番人気の**ナナノチカラ**が優勝。2着にはセイコークインが入り、5歳牝馬によるワンツー決着となりました。

コウシュハウンカイとキサラクキが並んで1番人気というオッズが示すとおり混戦模様。最



大 50 キロのハンデ差も頭を悩ませる要因で、展開や仕掛けのタイミングがカギを握りそうな一戦となりました。馬場水分 2.7%のなかゲートオープン。

各馬ともゆったり進み、道中は横一線。大きな動きはなく、ほぼ同時に第 2 障害下にたどり着きました。

ひと呼吸入れて最初に動いたのはハクタイホウ。グイグイと荷物を曳き上げますが、天板でヒザを折ってしまい、その隙を突いてカISINGEKIが突破。やや遅れてナナノチカラがクリアし、立て直したハクタイホウ、人気の一角コウシュハウンカイが続きます。

先頭に行くカISINGEKIは上々の歩みを見せますが、ナナノチカラが目を見張る末脚を発揮し、残り 30 メートル付近で先頭へ。あつという間にリードを広げ、独走態勢を築きます。その後、10 メートル付近とゴール線上で脚を止めたナナノチカラでしたが、抜群のスピードを武器にセーフティーリードを作っており、危なげなく先頭で荷物を運び切りました。苦しくなったのはカISINGEKIで、2 度 3 度脚を止めて後退。障害 5 番手から止まることなく押し上げてきたセイコクインが 2 着に食い込みました。3 着はコウシュハウンカイか、と思われたところ、ゴール線上でストップ。抜群の伸びを見せたソウクンボーイが 3 着入線を果たしました。

後続の激しい争いを尻目に、先頭で荷物を運び切ったナナノチカラ。前走のヒロインズ C ではゴール線上で脚を止めて 3 着に敗れましたが、今回は早めにリードを広げて粘り切りしました。しまいの確実さが欲しいのは確かですが、伸びしろがまだ残っているということは、今後の成長が見込める証し。来シーズンは、よりたくましくなったナナノチカラを見せてくれるに違いありません。

#### ◆ 第 47 回ばんえい記念（4 歳以上オープン）

単勝 2 番人気のキタノタイショウが優勝。悲願のばんえい記念制覇を果たして頂点に君臨するとともに、管理する服部義幸調教師に初のばんえい記念のタイトルをプレゼントしました。

昨年の優勝馬インフィニティーが 1 番人気で、地力を買われて 2 番人気にキタノタイショウ。しかしフクドリとニュータカラコマ、フジダイビクトリーも単勝ひと桁台で続いており、今の混沌としたオープン戦線象徴するオッズとなりました。午前中の降雪で馬場水分は 2.4%に上昇し、それがどう影響するか注目のなか、スタートが切られました。

第 1 障害を先頭で越えたのはキタノタイショウ。インフィニティー、フジダイビクトリーあたりがこれに続き、ファーストスターとホッカイヒカルはやや苦戦。各馬ゆったりと進みますが、思ったよりもソリの滑りは悪くなさそうに見えます。中間点あたりでもペースを握るのはキタノタイショウで、有力どころはつかず離れず追走。ファーストスターとホッカイヒカルは少し離れたましたが、そのほかはほぼ横一線で第 2 障害を迎えました。

じっくりためたのち、最初に動いたのはフジダイビクトリー。それを見る形でホリセンショウ、インフィニティーも動きます。なかでもかかりが良かったのはインフィニティーでしたが、天板近くでヒザを折ってしまいます。その間隙を突いてニュータカラコマが天板に脚をかけ、フジダイビクトリーもジワジワと荷物を曳き上げます。そして、先頭でクリアしたのはフジダイビクトリー。大歓声に送られ、障害を下っていきました。やや遅れてニュータカラコマとインフィニティーが突破。さらに遅れてキタノタイショウが 4 番手で障害を下り、ホリセンショウが 5 番手で続きました。

フジダイビクトリーの逃げ脚は軽快で、むしろ追いかけるニュータカラコマが苦しい展開。これにインフィニティーが並びかけようとしませんが、それを上回る脚でグングンと差を詰めてきたのがキタノタイショウ。1 度脚を止めたものの、立て直してさらに加速すると残り 20 メートル付近で 2 番手に躍り出て、さらにフジダイビクトリーを追いかけます。10 メートル標識でフジダイビクトリーが脚を止めると、それとほぼ同時にキタノタイショウもストップ。一進一退の攻防が続く、いよいよ最後の正念場となる残り 5 メートル。ここでフジダイビクトリーが止まってしまい、その際にキタノタイショウが先頭へ。フジダイビクトリーも懸命に食い下がりますが、奮闘もここ

まで。大歓声を背中に受けてキタノタイショウがゴール線を切り、第47代チャンピオンに輝きました。

フジダイビクトリーはゴール寸前で力尽き、あと数十センチのところから動くことができません。松田騎手の懸命の扶助も実らず、細かく刻んできたニュータカラコマが2番手で入線。さらにインフィニティーもこれに続いてフィニッシュ。フジダイビクトリーは結局4着でゴールしました。

これまで重賞10勝を誇っていたキタノタイショウですが、ばんえい記念はこれが初制覇。多少軽めの馬場で、持ち味であるスピードを生かしきれたのが勝因でしょう。そうはいつでも1トン戦。パワーがなければ克服できない重量であり、高いレベルでバランスの取れたオールラウンダーといえるでしょう。イレネー記念、ばんえいダービーを制して将来を嘱望されていた逸材が、9歳にしてようやくつかんだ頂点。王者として望む来シーズンも活躍してくれるに違いありません。

ニュータカラコマが今年の4着から前進。あきらめることなくジワジワと押し上げてきたレース内容が良く、これなら今後も頂点をうかがう存在として、重賞戦線をにぎわせてくれることでしょう。7歳世代の筆頭格として、来季も要注目です。

インフィニティーは2度のヒザ折りが響いた印象ですが、しまいまでしっかり脚を伸ばした内容に、この馬の不屈の闘志がかいま見えました。やはり高重量戦では軽視できない存在。来年のリベンジも十分に期待できそうです。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。